

令和5年度 第1回 曳馬中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年5月12日（金） 10時00分から11時40分まで
- 2 開催場所 曳馬中学校 会議室
- 3 出席委員 鈴木 芳次、太田 悦則、池村 俊典、平間 良明、
中川 恭子、鈴木 秀住、上原 敬浩
- 4 欠席委員 佐藤 洋子、鈴木 哲也
- 5 オブザーバー 野川 敬司（曳馬協働センター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 学 校 玉木 言明（校長）、平原 政和（教頭）、
廣田 憲一（主幹教諭・CS担当）、今田 明子（CSディレクター）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議記録作成 CSディレクター 今田 明子
- 10 副会長の指名
昨年度、副会長の太田委員がコーディネーター兼任になった関係で、今年度の副会長について会長鈴木芳次委員から、鈴木哲也委員を副会長に指名する旨の報告があった。
- 11 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、太田委員から会長鈴木芳次委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 12 協議事項
 - (1) 曳馬中学校運営基本方針について
 - (2) 新型コロナ5類移行後の教育活動について
 - (3) 夢育やらまいか事業の意見書について
- 13 会議記録
司会の廣田より、委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、議会が成立している旨の報告があった。
 - (1) 曳馬中学校運営基本方針について
議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。
 - ・経営方針やコミュニティスクールに関して教職員にどのくらい理解があるのか。他校ではPTA広報紙での教職員の顔写真の掲載をやめたいという話もあり、コミュニティスクール（以下、CS）の地域と共にとりという理念に逆行していると感じる（平間委員）
→CSは教職員にも浸透してきている。学校・学年行事の根幹にCSや学校支援コーディネーター、協働センターの協力があるということを感じていると思う。広報紙の顔写真については、教職員それぞれの考え方がある。協議会については、校内の運営委員会を通じて周知している（玉木校長）
→地域と共にとりということであれば、教職員も同じ考えで歩む必要があるのではないか

(平間委員)

→CSの発信と周知がまだ十分に進んでいない。まずは、協議会と教職員の信頼関係を築き、発信につなげたい(鈴木陽子指導主事)

→少数意見が尊重されすぎる傾向に危惧を感じる(平間委員・芳次委員)

・曳馬中学区3校のコーディネーターをしている。他校では2年目でも一部の教職員しかCSのことを知らなかった。年度当初に職員の集まりで挨拶をし、ようやく授業支援の相談が来るようになった。学校支援コーディネーターの存在を知らないと依頼できないので、徐々に浸透させていってほしい(池村委員)

→当校は3年目。他校の実践例等の情報収集も行っている。中学校の場合、実際の依頼が難しいこともある(玉木校長)

・教職員の負荷軽減について。ICTが普及している中でなぜ業務負担が増えているのかと疑問。先生の負担が減るようにしてほしい(上原委員)

→教職員個々人の業務処理能力によるところも大きく、夜遅くまで残っているのは同じ顔ぶれだと感じる。ただ、夜学校にいることは一概に悪いことばかりではなく、その時間にコミュニケーションをとれる良い面もある。働き方改革の発信を行っている(玉木校長)

→多忙化解消のツールとはいえ、ICTに弱い教職員もいる。逆にチャットGPT等AIを使って課題をしてくる生徒もいる。見極めをするには、教職員が生徒とのコミュニケーションを密にし、ICTに慣れる必要があると思う(平間委員)

→教職員の人数が増えれば解消が期待できる(玉木校長)

・今回生徒の自殺について経営構想に載せた理由は(芳次委員)

→教職員でも知らない者がいる。ご遺族からの忘れないでほしいというお話もある。いじめと自殺をイコールにしたいわけではないが、いじめはゼロではない中、命を守るということを考えていかなければならない(玉木校長)

・不登校の問題について。以前は素行不良によるものが多かったが、現在はそうではない。対策にしっかり取り組んでほしい(芳次委員)

→30日以上欠席で不登校とカウントされるため人数的には多く見えるが、完全不登校生徒はごく少数。まっば教室に登校できる生徒も増えてきている。まったくコミュニケーションが取れていない生徒については取れるよう尽力する(玉木校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 新型コロナ5類移行後の教育活動について

議長の指示により、主幹教諭廣田から、新型コロナ5類移行後の教育活動について以下のように説明があった。

5月8日以降の行事についてはほぼ制限がない状態に戻る。

7月21日の終業式は約3年ぶりに全学年体育館で実施予定。

2学期は9月の総合的な学習の日、10月アクト大ホールでの文化発表会、11月体育大会と生徒にとって楽しみな行事が続いていく。活発な活動ができるよう期待している。

委員からは以下の発言があった。

・新型コロナ5類移行後も子供たちはマスクを外さない。学校としての推奨する形はあ

るか（上原委員）

→暑くなってきたのでできれば外すように伝えていくが、あくまで個人の判断になる。
写真を撮るときでも外さない生徒もいる。声かけは続けていく（玉木校長）

- ・総合的な学習で「地域の防災リーダーになろう」とうたっているが、実際に地域の防災訓練への参加も促してほしい。防災訓練では、女子はおにぎり作り、男子は担架でのけが人搬送などを分担してもらっている。自主防災隊の高齢化も問題になっている中、中学生は十分戦力になると考えている。実際に地震が来た時に備えて、危険箇所の見回りなども行えるのでは（平間委員）

→防災センターに行くなどの活動の中で、自分の思いで参加してくれればと考える
（玉木校長）

（3）夢育やらまいか事業の意見書について

議長の指示により、教頭平原から、夢育やらまいか事業の予算について説明があった。

CS 加算分の6万円の執行については、昨年度と同様。

- ・部活動の実績を地域へ発信するため横断幕を作成する
- ・総合的な学習への支援として資料の発送費等を負担する

その他

・参加者より

- ・総合的な学習を中心に引き続き協力していく（野川協働センター長）
- ・民生委員との意見交換を望む（秀住委員）
- ・学校経営についての校長の思いが伝わってきた。一緒に頑張っていきたい（中川委員）
- ・学校ホームページが市内統一の形になった。いじめ防止策についても更新する。

学校ブログも毎日更新している。ぜひご覧いただきたい（廣田教諭）

- ・次回議長は、鈴木哲也委員が担当する。

・今後の予定

第2回運営協議会：令和5年10月19日（木）10:00～

第3回運営協議会：令和6年2月16日（金）10:00～

以上